

# Colorful

開館20周年記念

2024年4月2日[火] — 9月1日[日]

**無料観覧日** 開館20周年を記念して、4月27日(土)、28日(日)、29日(月・祝)の3日間はどなたも無料で観覧いただけます

開館時間 | 10:00~18:00(入館は17:30まで) 休館日 | 毎週月曜日(ただし、祝・休日と重なった場合は開館、翌平日休館)、4月29日(月・祝)、5月6日(月・振休)、7月15日(月・祝)、8月12日(月・振休)は開館、4月30日(火)、5月7日(火)、7月16日(火)、8月13日(火)は休館 観覧料 | 一般200円(160円)、大高生150円(120円)、65歳以上/中小生100円(80円) \*障害者の方は100円(80円)、ただし小・中・高・大学生の障害者は無料。介助者(当該障害者1名につき1名)は無料。証明書をご提示のうえ、お申し出ください。\*( )内は20名以上の団体料金 \*世田谷区内在住・在学の小・中学生は土、日、祝・休日、夏休み期間は無料

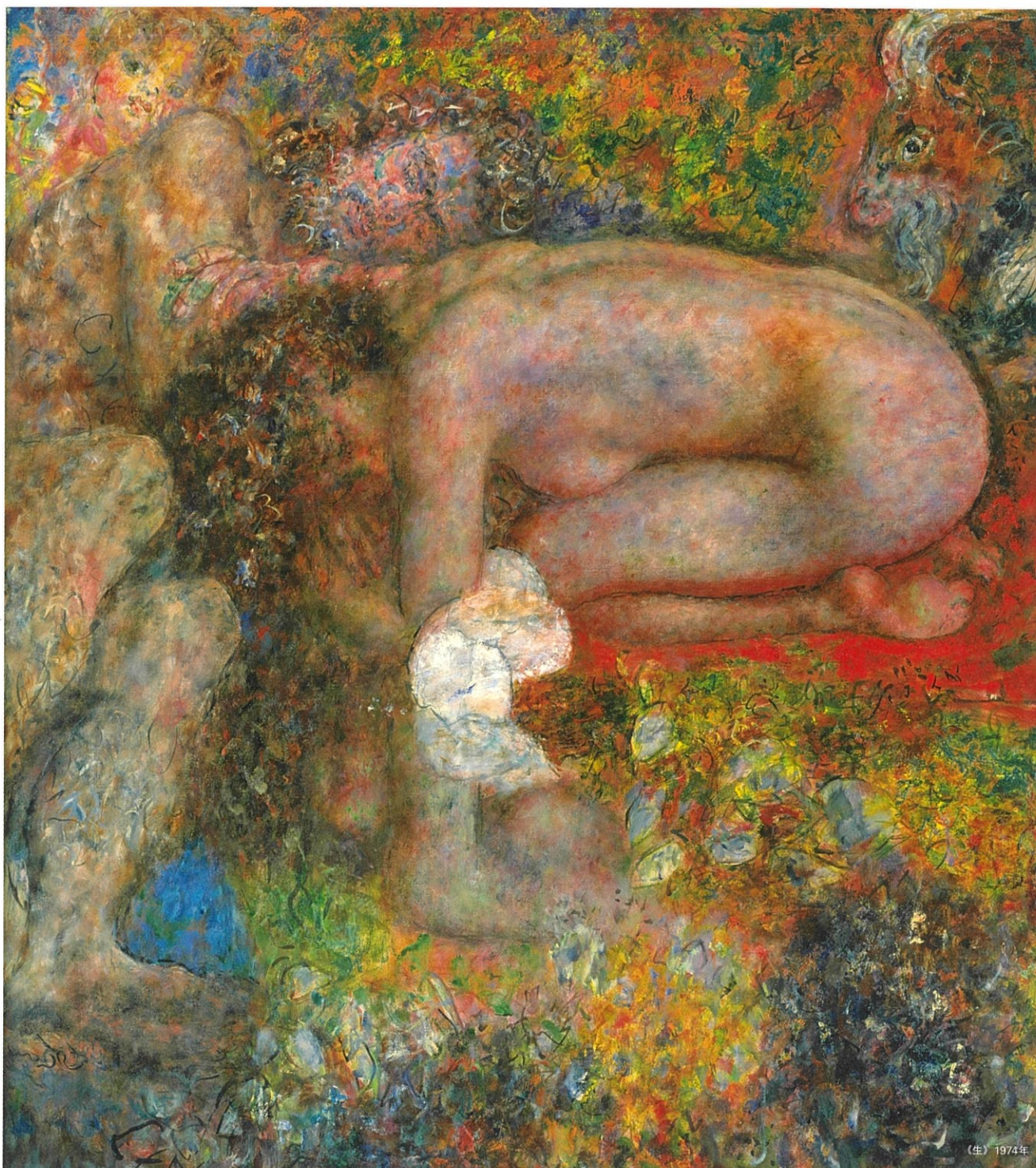
世田谷美術館分館

宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13

TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

宮本三郎  
彩られた世界







1



2

vert



3

noir



4

jaune



5

bleu

開館 20 周年記念

# Colorful

## 宮本三郎 彩られた世界

描写力に定評のあった洋画家・宮本三郎(1905-1974)は、色彩家としての側面も併せ持っていました。最晩年に描かれた作品《生》では、裸婦の肌の表現にも赤、青、緑など何種もの色を差すなど、細やかな筆致と複雑な色づかいのなかに幻想的な世界を描きだしています。その色彩への鋭敏な感覚は、宮本の画業を通してあらわされているものでした。背景の説明的な描写を省略して単色で表現したり、赤と緑、黄と青などの補色の関係にある色彩をひとつの画面のなかで積極的に用いたり、また、黒色をあえて画面の大部分に使用した作品なども、その特徴的な作例といえるでしょう。本展では、これらの作品群を赤・青・黄・緑など色調ごとに展示し、宮本三郎が画面に織り成した色彩の魅力に迫ります。



6

rouge

- 1 《(セーヌ河岸)》1952-53年頃
- 2 《化粧室の裸婦》1965年
- 3 《(ピアノ)》1945-48年頃
- 4 《黄色バックの花》1961年頃
- 5 《裸婦(A)》1962年
- 6 《女優》1961年 ※作品名の( )は不詳のため仮題

### イベント情報

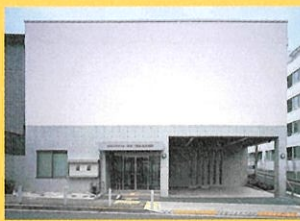
夏のサマーワークショップなど、会期中のイベントは決定しだい、ウェブサイトでお知らせします

## 世田谷美術館分館 宮本三郎記念美術館

〒158-0083 東京都世田谷区奥沢5-38-13  
TEL.03-5483-3836 <http://www.miyamotosaburo-annex.jp/>

### 【交通案内】

◎電車…東急東横線・大井町線「自由が丘」駅より徒歩7分／東急大井町線「九品仏」駅より徒歩8分／東急目黒線「奥沢」駅より徒歩8分 ◎バス…東急バス(渋11)田園調布駅～渋谷駅「奥沢六丁目」下車徒歩1分／東急バス(園01)田園調布駅～千歳船橋駅「浄水場前」下車徒歩10分



© 宮本和範

## 世田谷美術館分館 向井潤吉アトリエ館

〒154-0016 東京都世田谷区弦巻2-5-1  
TEL.03-5450-9581  
<http://www.mukaijunkichi-annex.jp/>



撮影：上野別室

空模様と民家——向井潤吉の民家日和  
4月2日(火)～9月1日(日)

## 世田谷美術館分館 清川泰次記念ギャラリー

〒157-0066 東京都世田谷区成城2-22-17  
TEL.03-3416-1202  
<http://www.kiyokawataiji-annex.jp/>



© 宮本和範

1950年代の写真——アメリカ、ヨーロッパ、アジアの街  
4月2日(火)～9月1日(日)



## 世田谷美術館

〒157-0075 東京都世田谷区砧公園1-2  
TEL.03-3415-6011(代表)  
<https://www.setagayaartmuseum.or.jp/>

【展覧会のご案内】  
TEL.050-5541-8600 (ハローダイヤル)

同時開催展

企画展  
ミュージアム  
コレクション

美術家たちの沿線物語 小田急線篇  
民藝 MINGEI—美は暮らしのなかにある  
生涯130年 没後60年を越えて 須田国太郎の芸術—三つのまなざし  
ミュージアムコレクションⅢ  
美術家たちの沿線物語 京王線・井の頭線篇  
ミュージアムコレクションⅠ  
アートディレクターの仕事—大貫卓也と花森安治

2月17日(土)～4月7日(日)  
4月24日(水)～6月30日(日)  
7月13日(土)～9月8日(日)  
2023年12月2日(土)～4月7日(日)  
7月20日(土)～10月14日(月・祝)

※ご入館に際しては感染症予防のため手指消毒にご協力ください。館内で十分な距離を保てない場合がありますので、マスクの着用を推奨しております。  
※展覧会の会期および内容が、急遽変更や中止になる場合もございます。会期中の最新情報は美術館ウェブサイト等でお知らせします。